北薩広域行政事務組合
環境センターエネクリン北薩

令和４年度
ごみ組成調査報告書

令和５年４月

北薩広域行政事務組合

目次

１　調査の目的　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ３

２　調査対象　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ４

３　分類項目　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ４

４　調査期間　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ５

５　ごみ調査員　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ５

６　ごみ調査の作業フロー　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ５

７　調査の結果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ６
⑴　調査台数　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ６
⑵　事業系ごみ組成（大分類）　・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ７
⑶　事業系ごみに含まれる資源化可能物の排出状況・・・・・　Ｐ１１
⑷　生活系のごみ組成（大分類）　・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１４
⑸　生活系ごみに含まれる資源化可能物の排出状況・・・・・　Ｐ１８

８　ごみ減量目標値について・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ２２

９　まとめ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ２３

（資料１）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ２４

（資料２）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ２５

１　調査の目的

北薩広域行政事務組合の構成市町（阿久根市、出水市、長島町）の可燃ごみは、周辺他市町及び全国平均と比較して、事業系ごみが以前多い傾向にあり（表１－１）、令和３年度事業系可燃ごみ排出目標７，７３２トンに対して、搬入実績は８，７６１トンで１，０２９トン（１１３．３％）超過している状況にある。また、生活系ごみにおいても、令和３年度生活系可燃ごみ排出目標　１３，１６５トンに対して、搬入実績は１３，９８６トンで８２１トン（１０６％）超過している状況である。

これらのことから、阿久根市、出水市及び長島町一般廃棄物収集許可業者が収集する可燃ごみを対象としたごみ組成調査を令和３年度より実施しており、事業系・生活系別の特色、発生抑制・再生利用の可・不可、不適切なごみ（リサイクル、不燃物や産業廃棄物等）など、その排出実態を調査・把握する。この調査結果を基にして、構成市町及び本組合が、排出事業者・許可業者及び住民への適切な指導（資源化可能な紙類のリサイクルルートへの誘導等）のための啓発方法等の検討を行い、ごみ減量の取組推進をめざしていくことを目的とする。

（表１－１）一般廃棄物処理実態調査（環境省）

市町名	年度	１人1日当たり(g/人・日)				
		合計	生活系ごみ		事業系ごみ	
		(g/人・日)	(g/人・日)	割合	(g/人・日)	割合
全国	令和2	901	649	72.03%	252	27.97%
	令和3	890	636	71.46%	254	28.54%
鹿児島県	令和2	921	641	69.60%	280	30.40%
	令和3	900	628	69.78%	272	30.22%
阿久根市	令和2	1,061	609	**57.40%**	452	**42.60%**
	令和3	1,047	615	**58.74%**	432	**41.26%**
出水市	令和2	901	575	**63.82%**	326	**36.18%**
	令和3	887	570	**64.26%**	316	**35.63%**
長島町	令和2	690	508	**73.62%**	183	**26.52%**
	令和3	677	506	**74.74%**	171	**25.26%**
薩摩川内市	令和2	839	638	76.04%	201	23.96%
	令和3	828	634	76.57%	195	23.55%
水俣市	令和2	792	624	78.79%	169	21.34%
	令和3	763	600	78.64%	163	21.36%

２　調査対象

事業系一般廃棄物収集運搬業許可業者

（阿久根市　６社、出水市　１８社、長島町　３社）

生活系ごみ市町収集車

（阿久根市　４社、出水市　７社、長島町　３社）

３　分類項目

古紙類を中心に３３項目とする。

□　表１－３　組成調査の分類

大分類	中分類	小分類		備考
紙類	紙類 （資源化可能）	①	新聞・広告紙	
		②	書籍類	
		③	段ボール	
	その他紙類 （資源化可能）	④	紙製容器包装	
		⑤	紙パック	
		⑥	ＯＡ用紙類	
		⑦	シュレッダーくず	
		⑧	その他資源可能な紙	
	資源化できない紙	⑨	資源化できない紙	
プラスチック類	プラスチック （資源化可能） ※事業所は産業廃棄物	⑩	ペットボトル	
		⑪	プラ製容器包装	
		⑫	トロ箱	
		⑬	梱包・包装	
		⑭	発泡性緩衝材	
	資源化できないプラスチック ※事業所は産業廃棄物	⑮－１	その他プラスチック	
		⑮－２	硬質プラスチック	
繊維類	衣類（資源化可能）	⑯	資源化可能な衣類	
	資源化できない繊維類	⑰	その他の繊維類	
厨芥類	厨芥類	⑱	調理くず	
	食品ロス	⑲	未利用食品	
		⑳	食べ残し	
草木類	草木類	㉑	剪定くず	
		㉒	草	
木片類	木片類	㉓	木片	
		㉔	その他木片	
ゴム・皮革類	ゴム・皮革類	㉕	ゴム	
		㉖	皮革	
その他可燃ごみ	その他可燃ごみ	㉗	その他可燃ごみ	
不燃物類	不燃物類	㉘	金属類	
		㉙	陶磁器類	
		㉚	ガラス類	
		㉛	有害物類	
		㉜	その他不燃ごみ	
他市町ごみ	他市町ごみ	㉝	他市町ごみ	

４　調査期間

令和４年４月１日から令和５年３月３１日まで

５　ごみ調査人員

２人（会計年度任用職員）

６　調査ごみの作業フロー

⑴　作業準備

かご等の分類容器や計量器等を配置する。

⑵　ごみの搬入調査対象試料の抽出

収集車からごみを作業場所に適量投下し、その中から約５０ｋｇ程度を抽出。

⑶　調査項目ごとに分類

収集ごみ袋を破袋し、ごみを展開し、３３項目毎に分類する。

⑷　分類終了

ごみが適切に分類されているか最終確認。

⑸　計量記録

分類したごみを分類項目ごとに計量・記録する。

⑹　片付け、清掃

床面及び作業場所周辺を清掃

7　調査の結果

⑴　調査台数

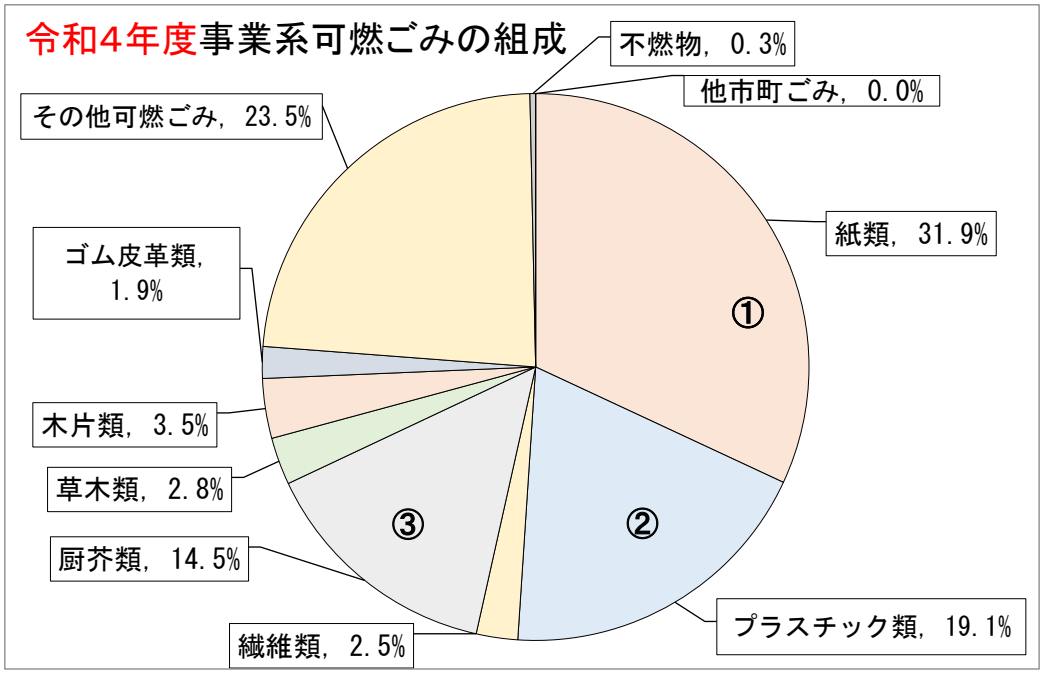
事業系、生活系ともに前年度（令和３年度）の搬入実績に応じて、調査回数を設定した。

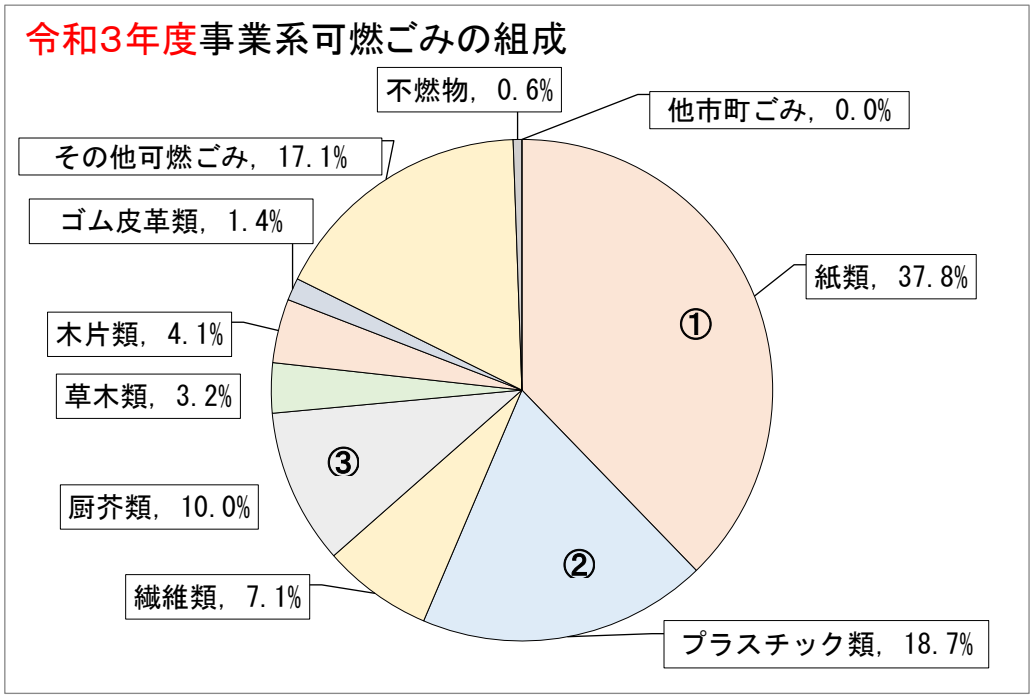
	事業系	生活系	合　計
阿久根市	２７	９	３６
出水市	６８	２３	９１
長島町	８	１０	１８
合　計	１０３	４２	１４５

⑵　事業系ごみ組成（大分類）

ア　２市１町のごみ組成

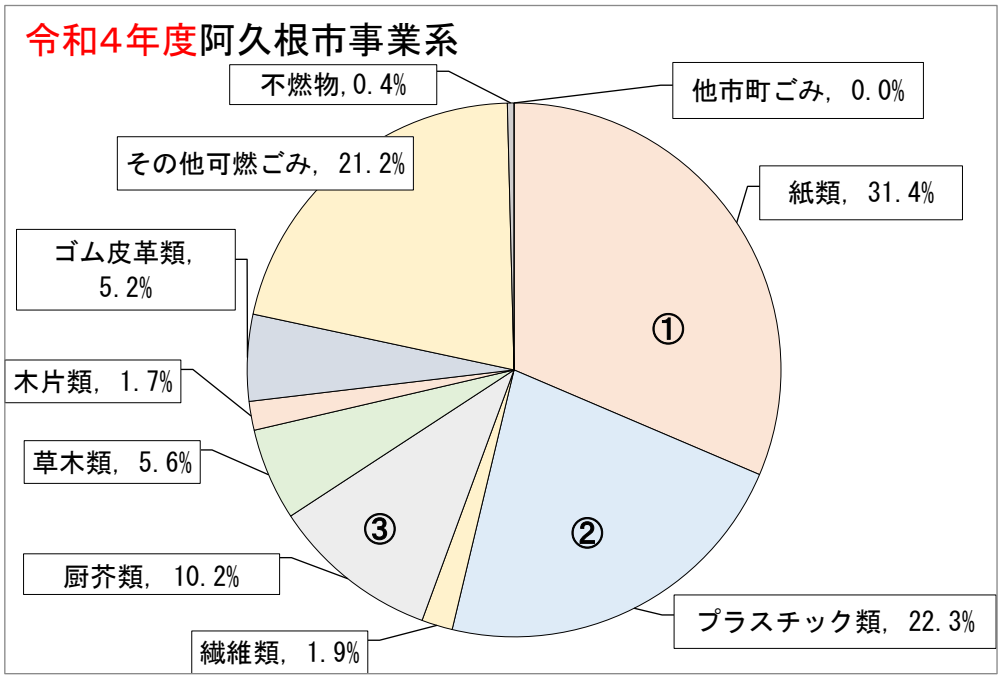
令和４年度の事業系ごみ全体の組成では、①紙類の組成が最も多く（約３２％）、次いでプラスチック類（約１９％）、厨芥類（約１５％）と、３種で全体の約７割を占めていた。また、令和３年度も紙類、プラスチック類、厨芥類で約７割を占めていたが、紙類の比率が減少傾向であった。

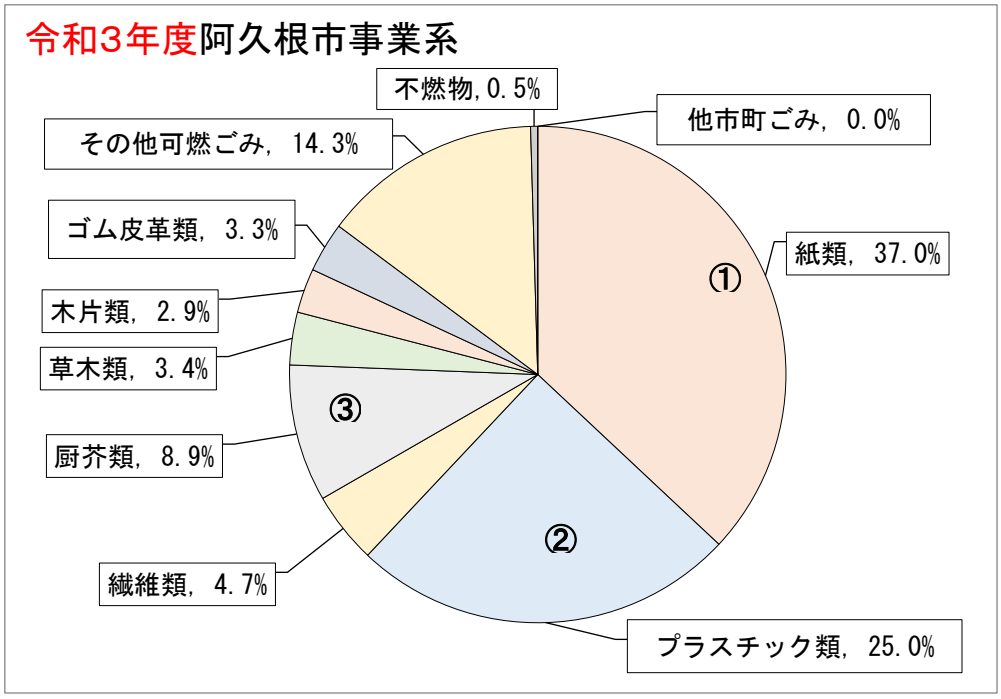




イ　阿久根市のごみ組成

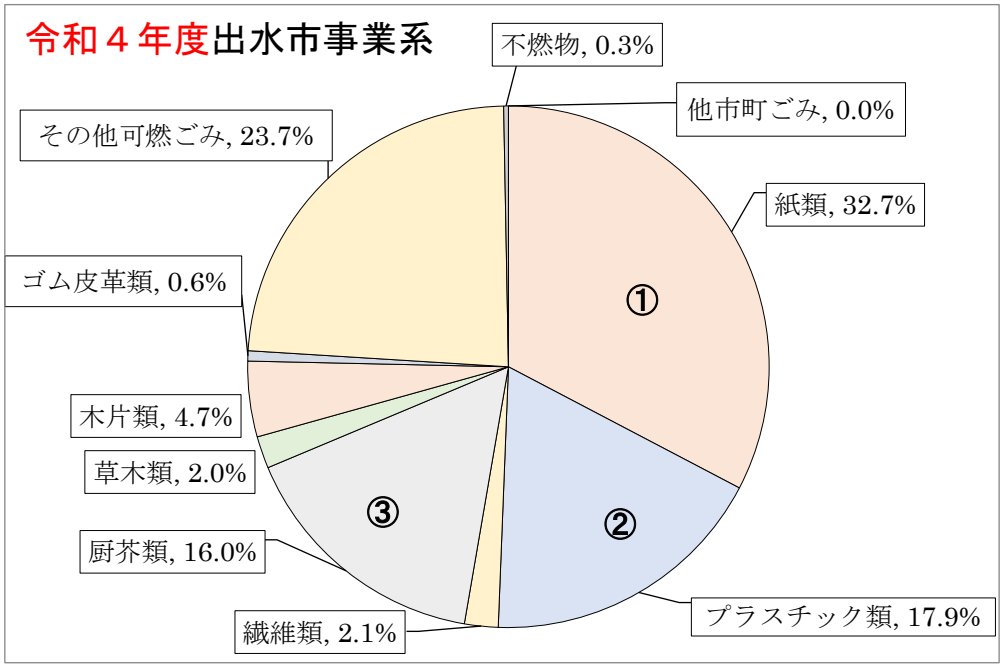
令和４年度の事業系ごみ全体の組成では、①紙類の組成が最も多く（約３１％）、次いでプラスチック類（約２２％）、厨芥類（約１０％）と、３種で全体の約６割を占めていた。また、令和３年度も紙類、プラスチック類、厨芥類で約７割を占めていたが、紙類の比率が減少傾向であった。

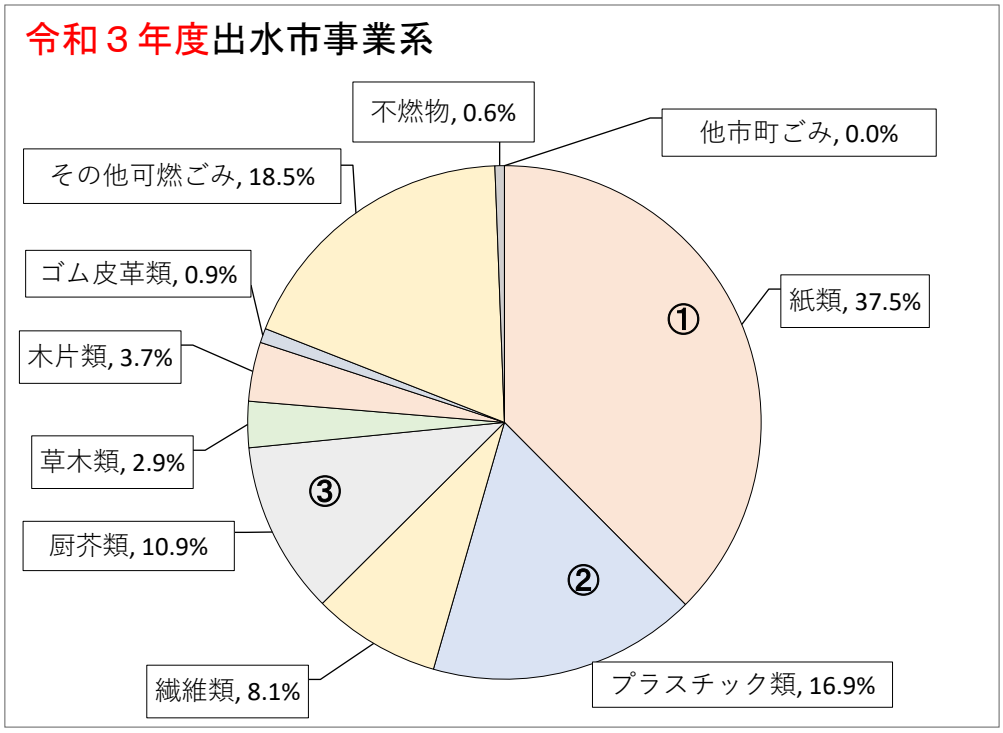




ウ　出水市のごみ組成

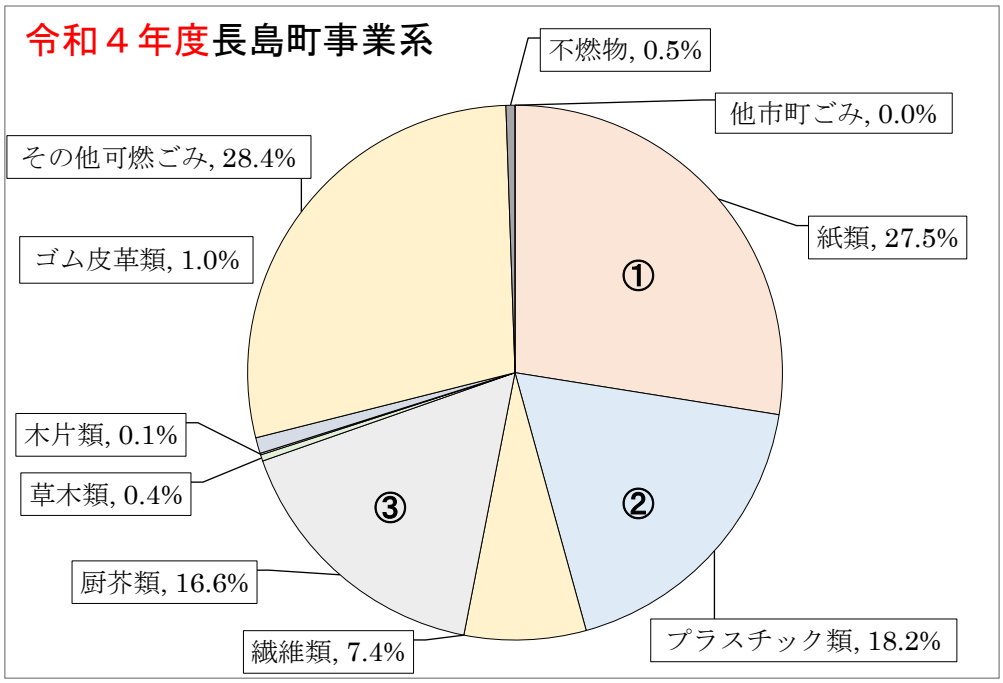
令和４年度の事業系ごみ全体の組成では、①紙類の組成が最も多く（約３３％）、次いでプラスチック類（約１８％）、厨芥類（約１６％）と、３種で全体の約７割を占めていた。また、令和３年度も紙類、プラスチック類、厨芥類で約７割を占めていたが、紙類の比率が減少傾向であった。

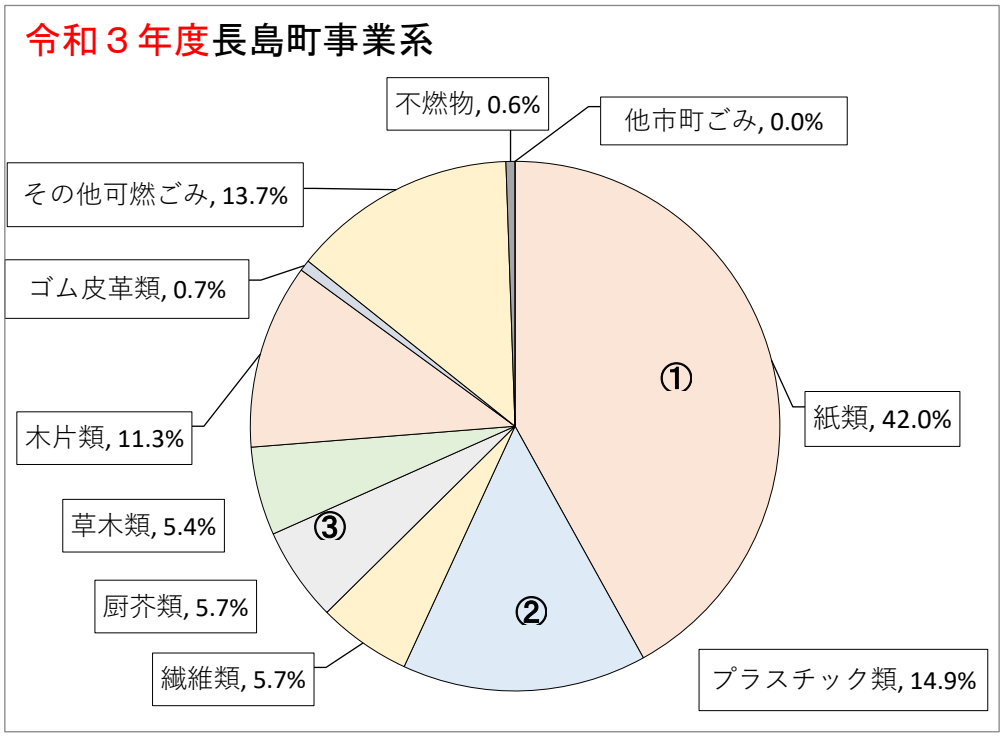




エ　長島町のごみ組成

令和４年度の事業系ごみ全体の組成では、①紙類の組成が最も多く（約２８％）、次いでプラスチック類（約１８％）、厨芥類（約１７％）、３種で全体の約６割を占めていた。また、令和３年度も紙類、プラスチック類、厨芥類で約６割を占めていたが、紙類の比率が減少傾向であった。

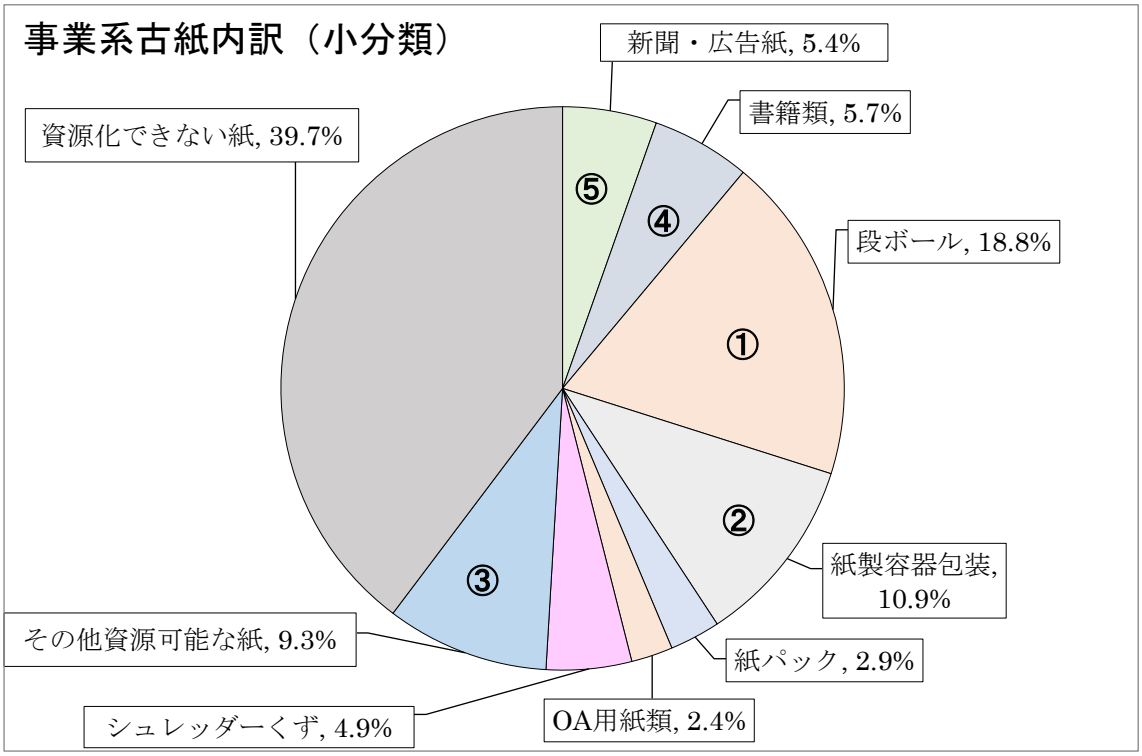


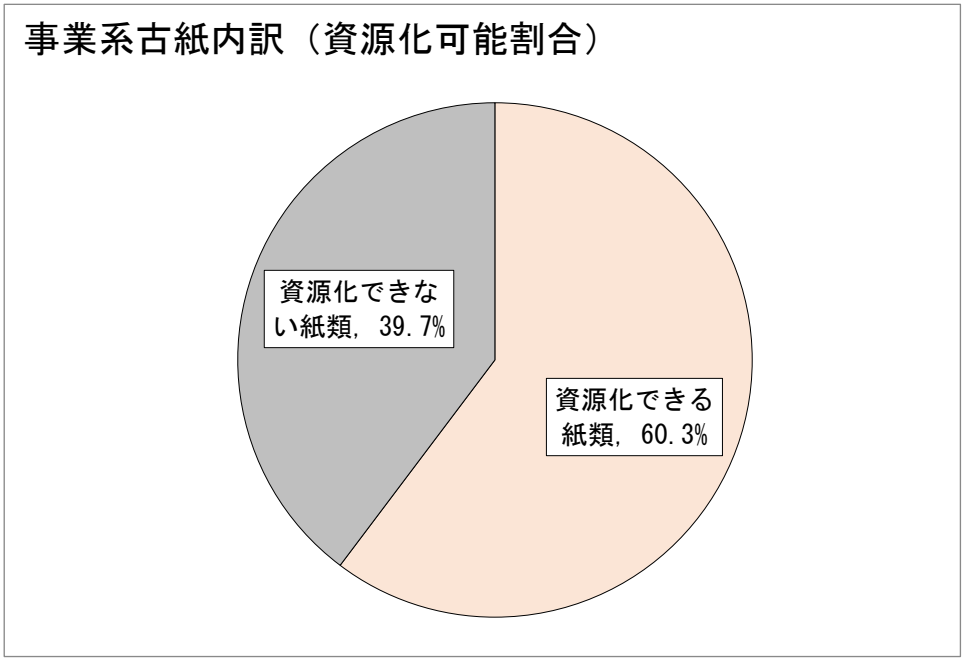


⑶　事業系ごみに含まれる資源化可能物の排出状況

ア　紙類

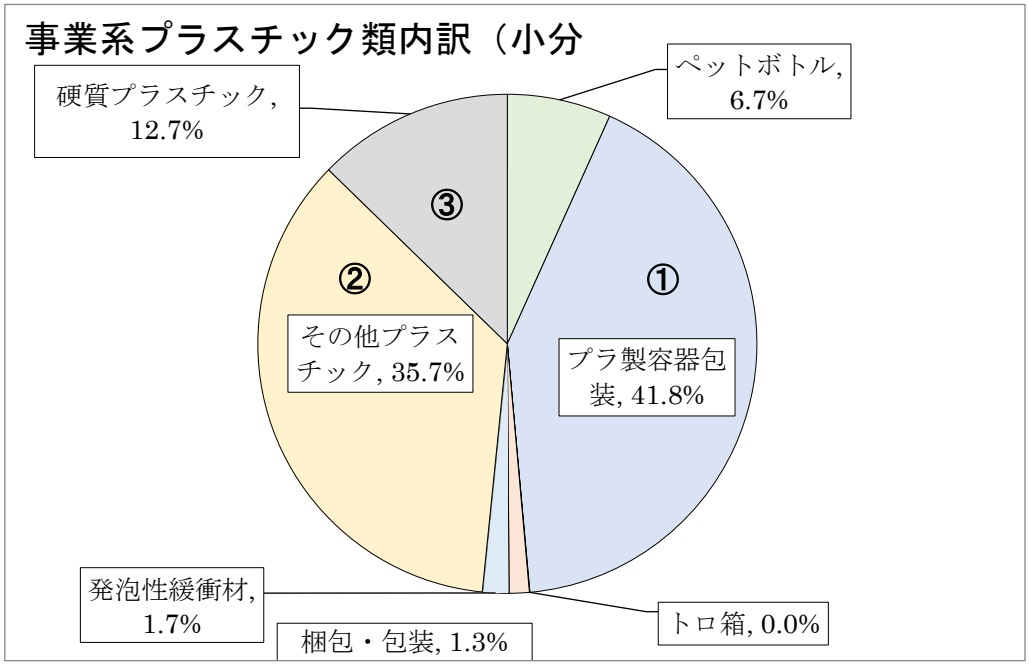
事業系、紙類の内訳は、①段ボール１８．８％、②紙製容器包装１０．９％、③その他紙９．３％、④書籍類５．７％、⑤新聞広告紙５．４％等あり、紙類のうち約６割は、リサイクル可能であったと思われる。





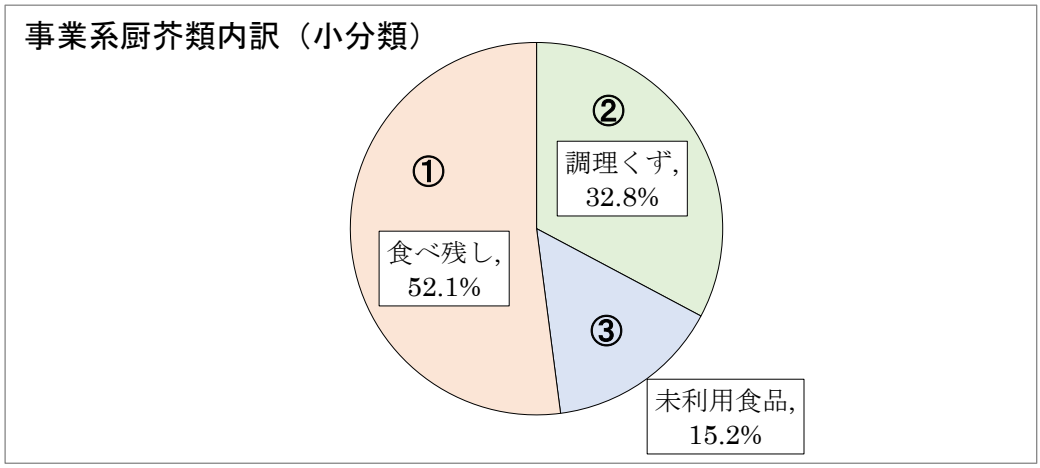
イ　プラスチック類

事業系、プラスチック類の内訳としては、プラマークが確認できた①プラ製容器包装４１．８％、②プラマークが確認できなかった、その他のプラスチック３５．７％、③硬質プラスチック１２．７％等があったが、事業活動に伴う廃プラスチック類は、業種、事業内容が工場、農業、サービス業、また、事業所が大きい小さいは関係なく、あらゆる業種、事業所から排出される廃プラスチック類は産業廃棄物に該当する。



ウ　厨芥類（食品ロス）

事業系、厨芥類の内訳としては、①食べ残しと思われるものが５２．１％、②調理くず等３２．８％、③スーパー等の売れ残りと思われる未利用食品１５．２％であり、食べ物を残さないことや、また残ったものは、生ごみたい肥化事業や、キエーロ等の生ごみ処理機等を活用することで、食品ロスを減らすことが可能であったと思われる。



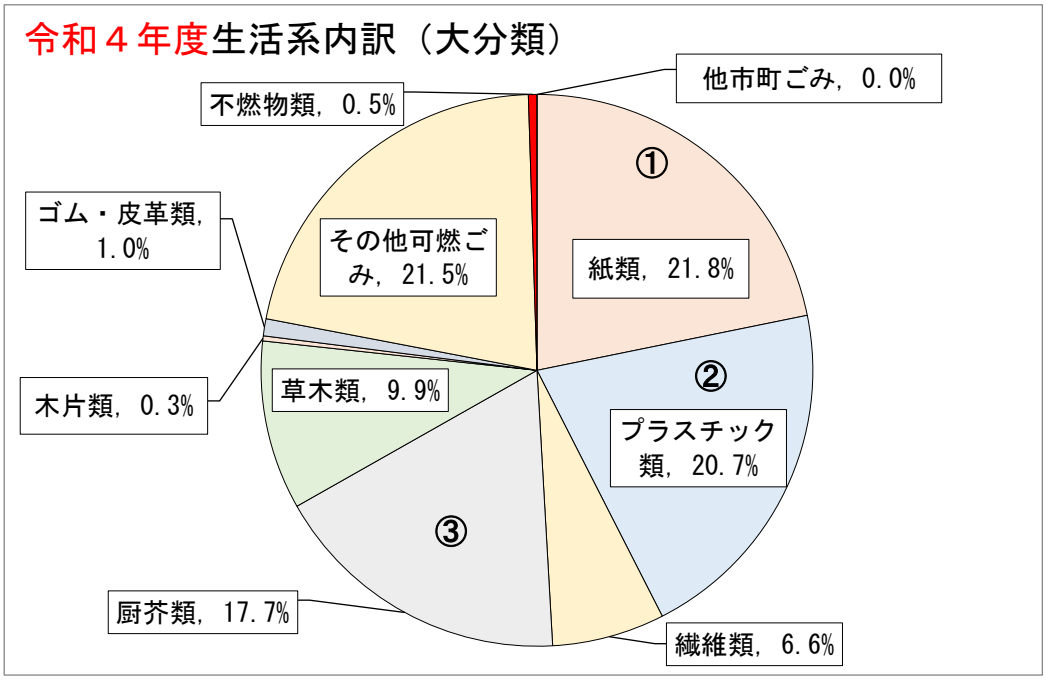
□　令和4年度ごみ調査集計表（事業所収集）

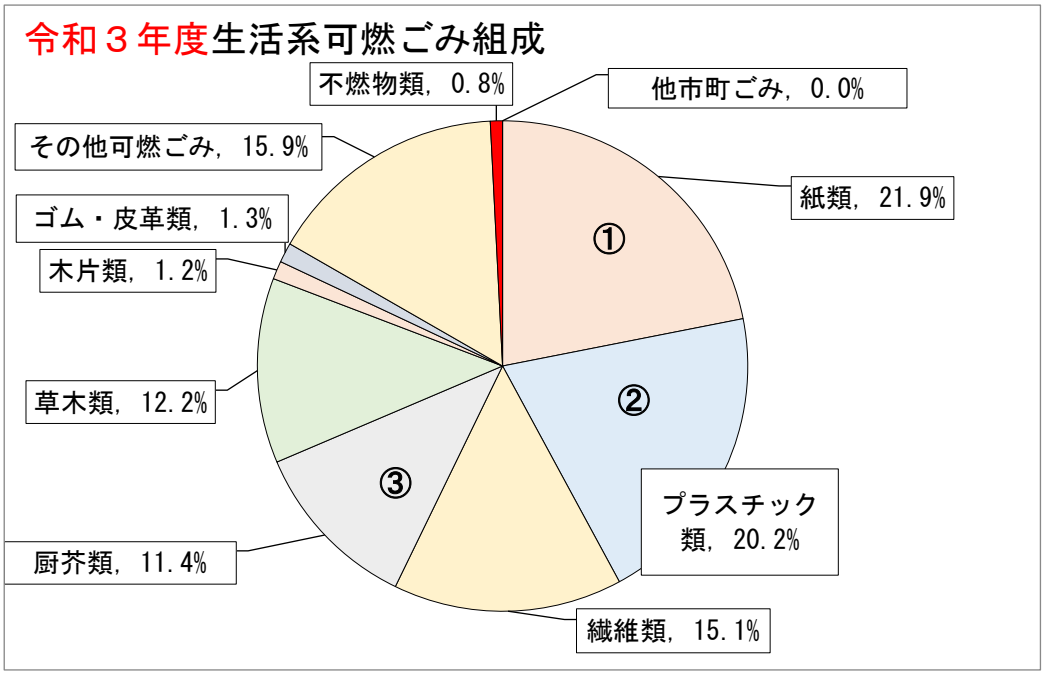
項　目				2市1町				阿久根市				出水市				長島町			
				合計（103回）	割合 小分類	割合 中分類	割合 大分類	合計（27回）	割合 小分類	割合 中分類	割合 大分類	合計(88回)	割合 小分類	割合 中分類	割合 大分類	合計（8回）	割合 小分類	割合 中分類	割合 大分類
調　査　量(kg)				8,718.88	100%	100%	100.0%	2,289.51	100%	100%	100.0%	5,721.25	100%	100%	100.0%	708.12	100%	100%	100.0%
大分類(10)	**中分類(14)**		**小分類(34)**																
紙類	古紙類(**資源化可能**)	①	新聞・広告紙	150.42	1.7%	**19.3%**	**31.9%**	44.00	1.9%	**18.4%**	**31.4%**	90.32	1.6%	**20.1%**	**32.7%**	16.10	2.3%	**15.1%**	**27.5%**
		②	書籍類	158.04	1.8%			35.10	1.5%			109.04	1.9%			13.90	2.0%		
		③	段ボール	523.80	6.0%			98.76	4.3%			404.38	7.1%			20.66	2.9%		
	その他紙類(**資源化可能**)	④	紙製容器包装	302.48	3.5%			79.02	3.5%			199.82	3.5%			23.64	3.3%		
		⑤	紙パック	80.86	0.9%			23.74	1.0%			52.14	0.9%			4.98	0.7%		
		⑥	OA用紙類	66.56	0.8%			38.58	1.7%			22.56	0.4%			5.42	0.8%		
		⑦	シュレッダーくず	136.28	1.6%			40.46	1.8%			90.00	1.6%			5.82	0.8%		
		⑧	その他資源可能な紙	260.14	3.0%			60.78	2.7%			182.72	3.2%			16.64	2.3%		
	資源化できない紙	⑨	資源化できない紙	1,105.80	12.7%	12.7%		298.84	13.1%	13.1%		719.26	12.6%	12.6%		87.70	12.4%	12.4%	
プラスチック類	産業廃棄物	⑩	ペットボトル	112.06	1.3%	**19.1%**	**19.1%**	23.14	1.0%	**22.3%**	**22.3%**	82.10	1.4%	**17.9%**	**17.9%**	6.82	1.0%	**18.2%**	**18.2%**
		⑪	プラ製容器包装	696.68	8.0%			203.54	8.9%			434.24	7.6%			58.90	8.3%		
		⑫	トロ箱	0.66	0.0%			0.62	0.0%			0.04	0.0%			0.00	0.0%		
		⑬	梱包・包装	21.53	0.2%			5.52	0.2%			14.91	0.3%			1.10	0.2%		
		⑭	発泡性緩衝材	28.59	0.3%			11.82	0.5%			14.35	0.3%			2.42	0.3%		
		⑮-1	その他プラスチック	594.22	6.8%			200.80	8.8%			349.02	6.1%			44.40	6.3%		
		⑮-2	硬質プラスチック	211.85	2.4%			65.44	2.9%			131.21	2.3%			15.20	2.1%		
繊維類	衣類(資源化可能)	⑯	資源化可能な衣類	40.28	0.5%	0.5%	2.5%	9.42	0.4%	0.4%	1.9%	24.72	0.4%	0.4%	2.1%	6.14	0.9%	0.9%	7.4%
	資源化できない繊維類	⑰	その他の繊維類	173.69	2.0%	2.0%		33.41	1.5%	1.5%		94.32	1.6%	1.6%		45.96	6.5%	6.5%	
厨芥類	厨芥類	⑱	調理くず	414.42	4.8%	4.8%	**14.5%**	60.98	2.7%	2.7%	**10.2%**	304.88	5.3%	5.3%	**16.0%**	48.56	6.9%	6.9%	**16.6%**
	食品ロス	⑲	未利用食品	191.80	2.2%	**9.8%**		31.10	1.4%	**7.5%**		145.52	2.5%	**10.7%**		15.18	2.1%	**9.7%**	
		⑳	食べ残し	658.47	7.6%			141.00	6.2%			463.89	8.1%			53.58	7.6%		
草木類	草木類	㉑	剪定くず	45.32	0.5%	0.5%	2.8%	34.20	1.5%	1.5%	5.6%	11.12	0.2%	0.2%	2.0%	0.00	0.0%	0.0%	0.4%
		㉒	草	198.91	2.3%	2.3%		93.70	4.1%	4.1%		102.49	1.8%	1.8%		2.72	0.4%	0.4%	
木片類	木片類	㉓	木片	289.26	3.3%	3.3%	3.5%	39.92	1.7%	1.7%	1.7%	249.34	4.4%	4.4%	4.7%	0.00	0.0%	0.0%	0.1%
		㉔	その他木片	18.96	0.2%	0.2%		0.00	0.0%	0.0%		18.24	0.3%	0.3%		0.72	0.1%	0.1%	
ゴム・皮革類	ゴム・皮革類	㉕	ゴム	45.14	0.5%	0.5%	1.9%	12.04	0.5%	0.5%	5.2%	30.74	0.5%	0.5%	0.6%	2.36	0.3%	0.3%	1.0%
		㉖	皮革	118.12	1.4%	1.4%		108.00	4.7%	4.7%		5.70	0.1%	0.1%		4.42	0.6%	0.6%	
その他可燃ごみ	その他可燃ごみ	㉗	その他可燃ごみ	2,045.14	23.5%	23.5%	23.5%	486.40	21.2%	21.2%	21.2%	1,357.80	23.7%	23.7%	23.7%	200.94	28.4%	28.4%	28.4%
不燃物類	不燃物類	㉘	金属類	22.75	0.3%	0.3%	0.3%	6.38	0.3%	0.3%	0.4%	12.87	0.2%	0.2%	0.3%	3.50	0.5%	0.5%	0.5%
		㉙	陶磁器類	0.56	0.0%	0.0%		0.18	0.0%	0.0%		0.34	0.0%	0.0%		0.04	0.0%	0.0%	
		㉚	ガラス類	6.09	0.1%	0.1%		2.62	0.1%	0.1%		3.17	0.1%	0.1%		0.30	0.0%	0.0%	
		㉛	有害物類	0.00	0.0%	0.0%		0.00	0.0%	0.0%		0.00	0.0%	0.0%		0.00	0.0%	0.0%	
		㉜	その他不燃ごみ	0.00	0.0%	0.0%		0.00	0.0%	0.0%		0.00	0.0%	0.0%		0.00	0.0%	0.0%	
他市町ごみ	他市町ごみ	㉝	他市町ごみ	0.00	0.0%	0.0%	0.0%	0.00	0.0%	0.0%	0.0%	0.00	0.0%	0.0%	0.0%	0.00	0.0%	0.0%	0.0%
備　考																			

⑷　生活系のごみ組成（大分類）

ア　２市１町のごみ組成

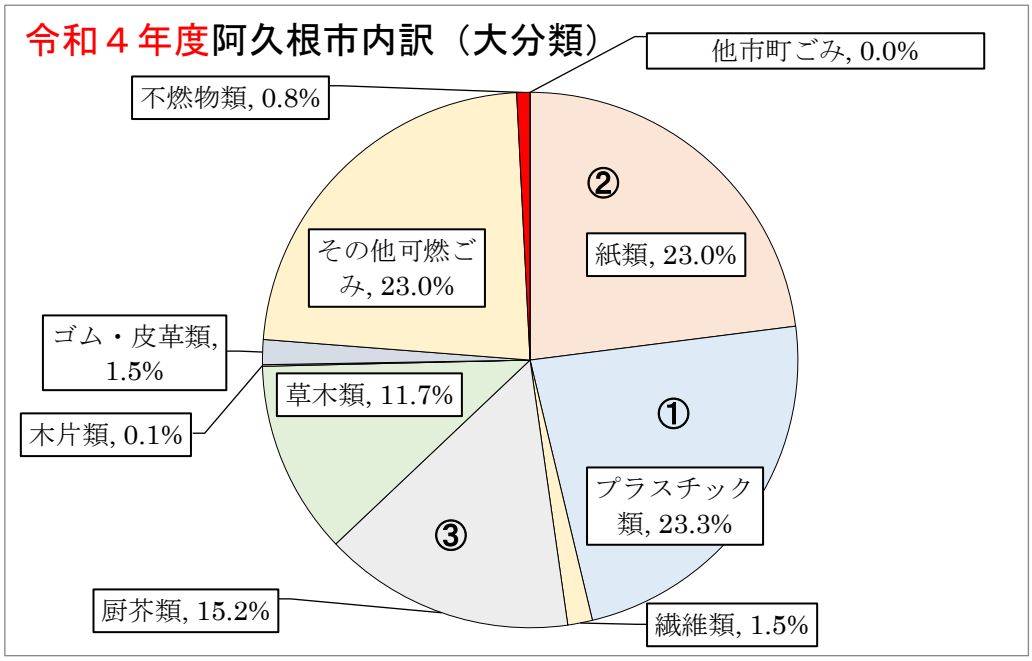
令和４年度の生活系ごみ全体の組成では、①紙類の組成が最も多く（約２２％）、次いで②プラスチック類（約２１％）、③厨芥類（約１８％）と、３種で全体の約６割を占めていた。また、令和３年度も①紙類、②プラスチック類、③厨芥類で約５割を占めていが、厨芥類の比率が増加傾向であった。

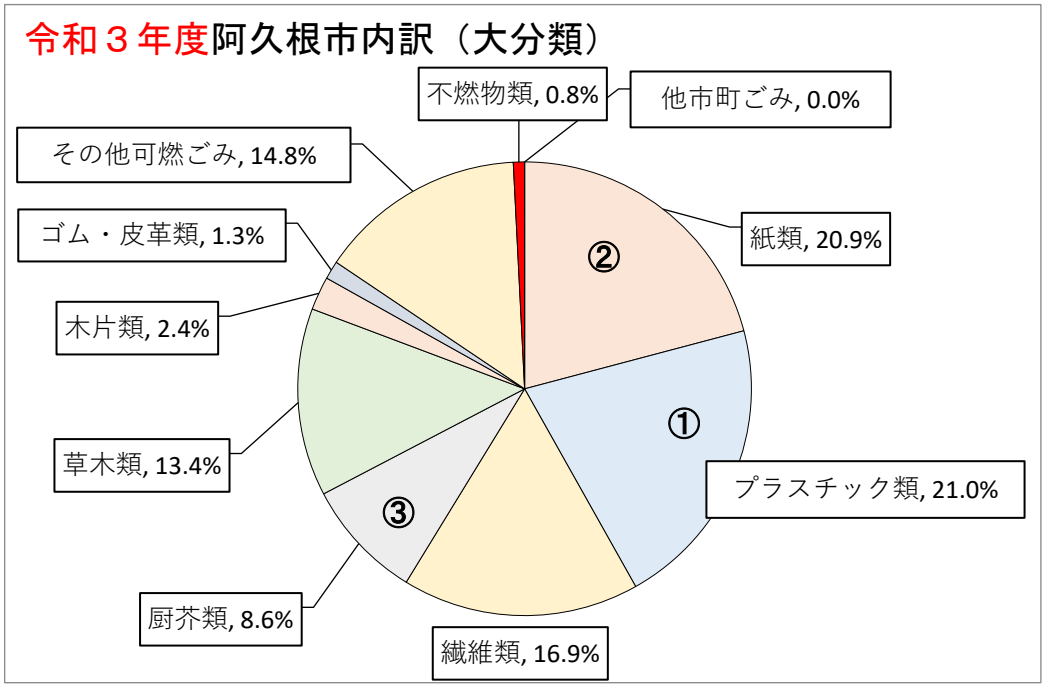




イ　阿久根市のごみ組成

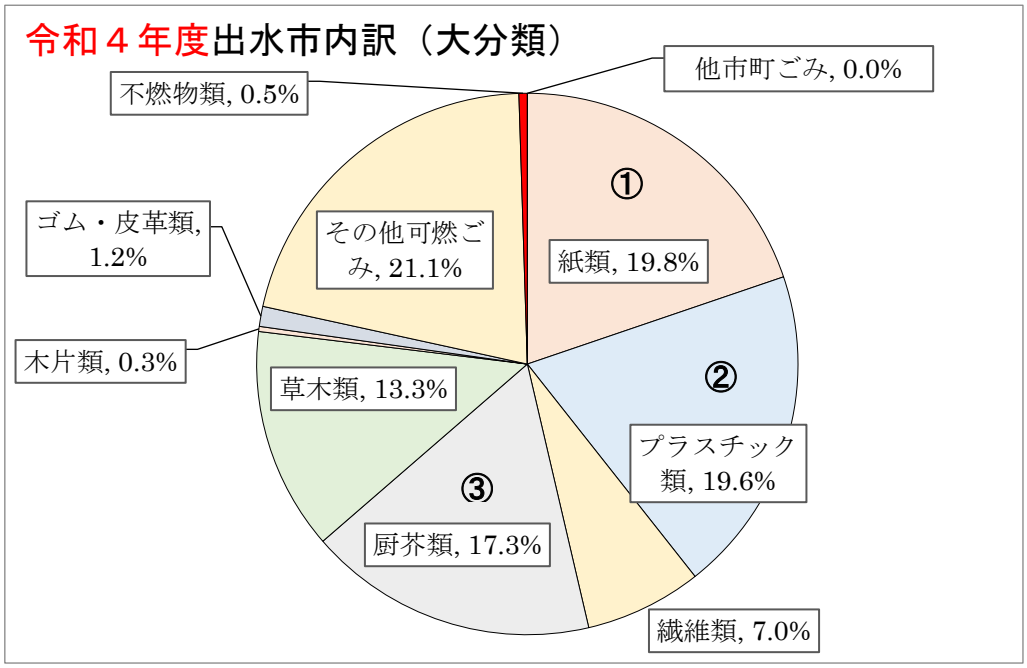
令和４年度の生活系ごみ全体の組成では、①プラスチック類の組成が最も多く（約２３％）、次いで②紙類（約２３％）、③厨芥類（約１５％）と、３種で全体の約６割を占めていた。また、令和３年度は①プラスチック類、②紙類、③厨芥類で約５割を占めていたが、繊維類の比率減少傾向であった。

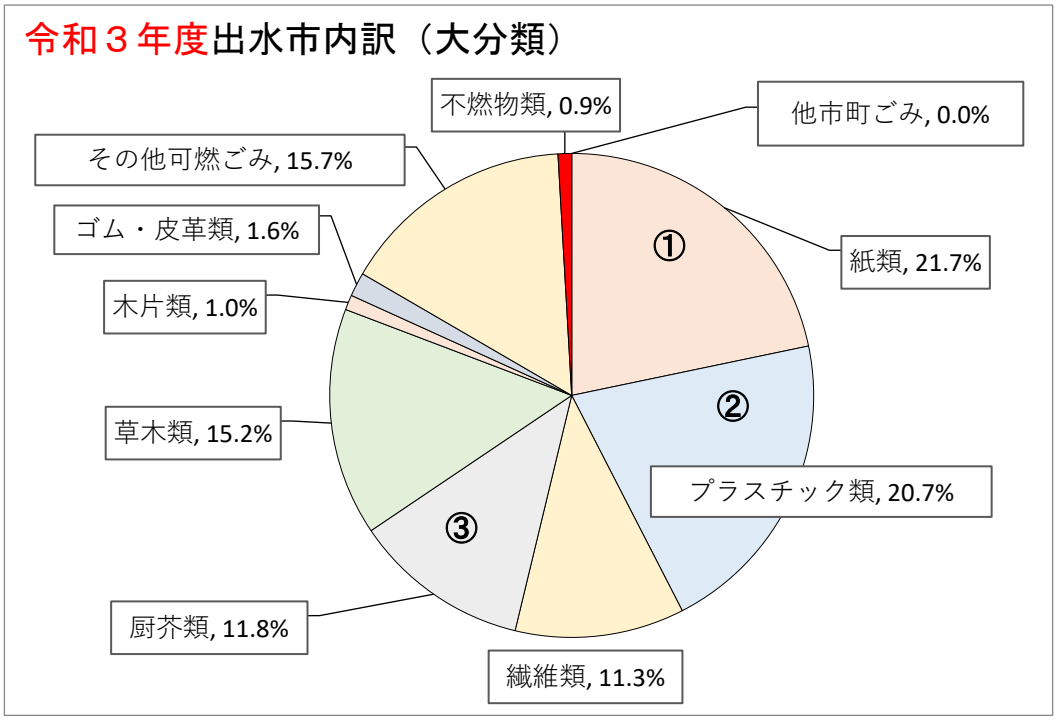




ウ　出水市のごみ組成

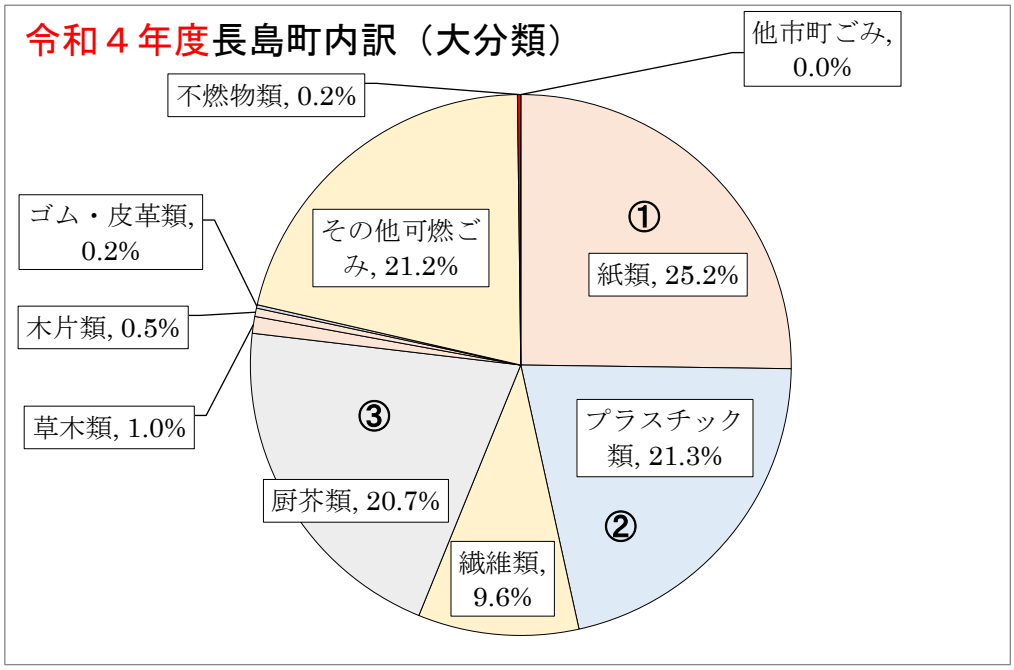
令和４年度の生活系ごみ全体の組成では、①紙類の組成が最も多く（約２０％）、次いで②プラスチック類（約２０％）、③厨芥類（約１７％）と、３種で全体の約６割を占めていた。また、令和３年度は①紙類、②プラスチック類、③厨芥類で約５割を占めていた。

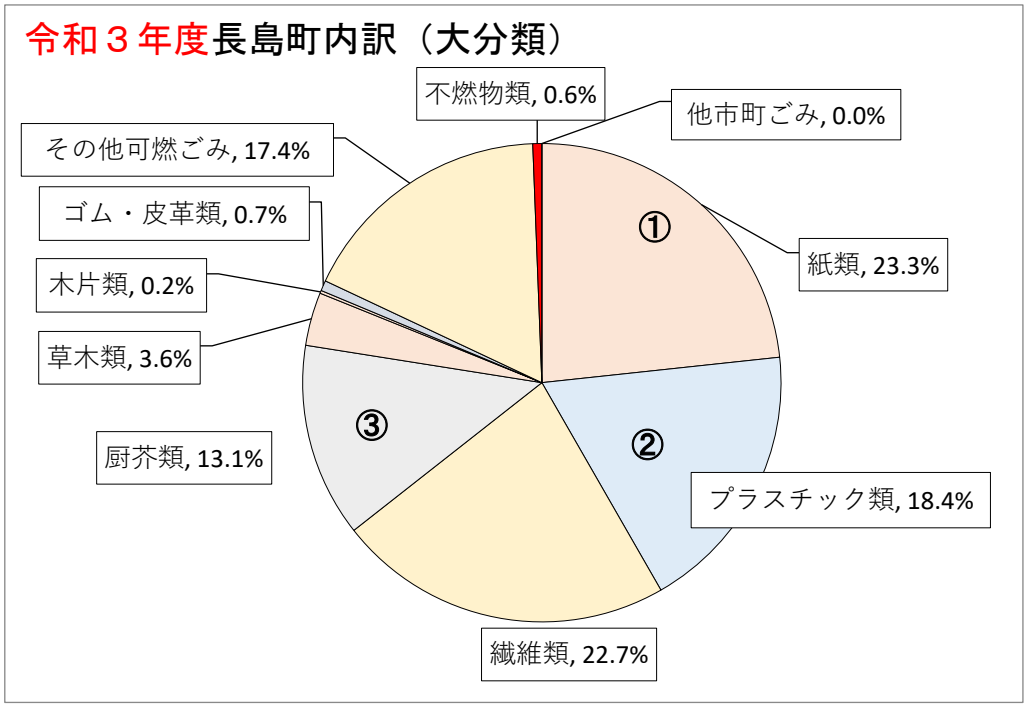




エ　長島町のごみ組成

令和４年度の生活系ごみ全体の組成では、①紙類の組成が最も多く（約２５％）、次いで②プラスチック類（約２１％）、③厨芥類（約２１％）と、３種で全体の約７割を占めていた。また、令和３年度は①紙類、②プラスチック類、③厨芥類で約５割を占めていたが、繊維類の比率が減少傾向であった。

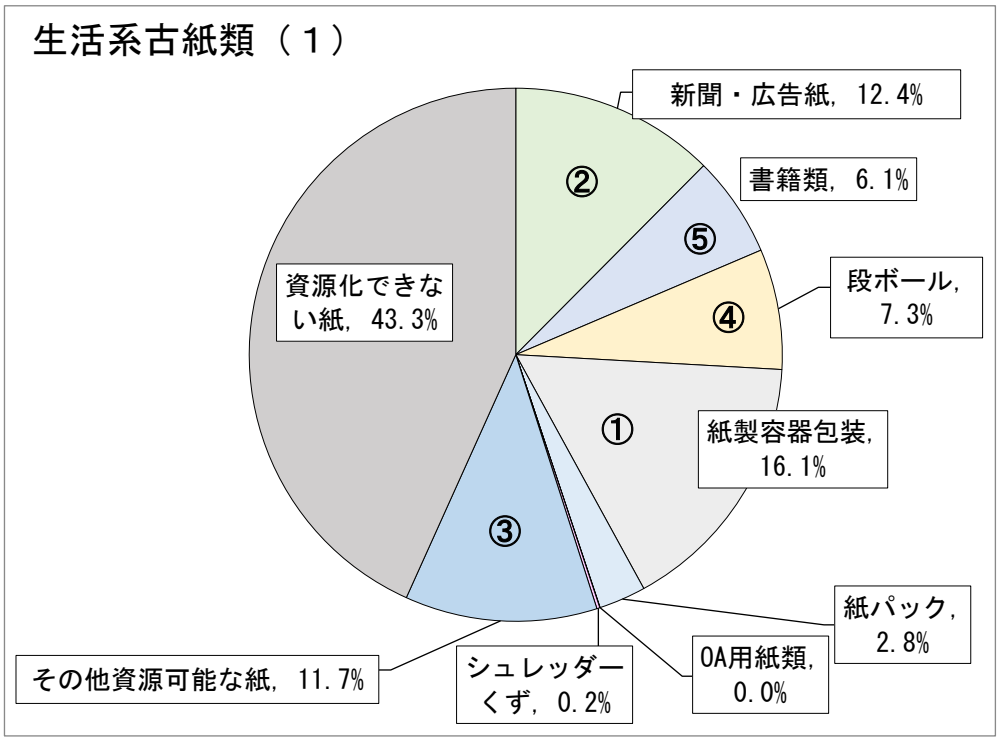


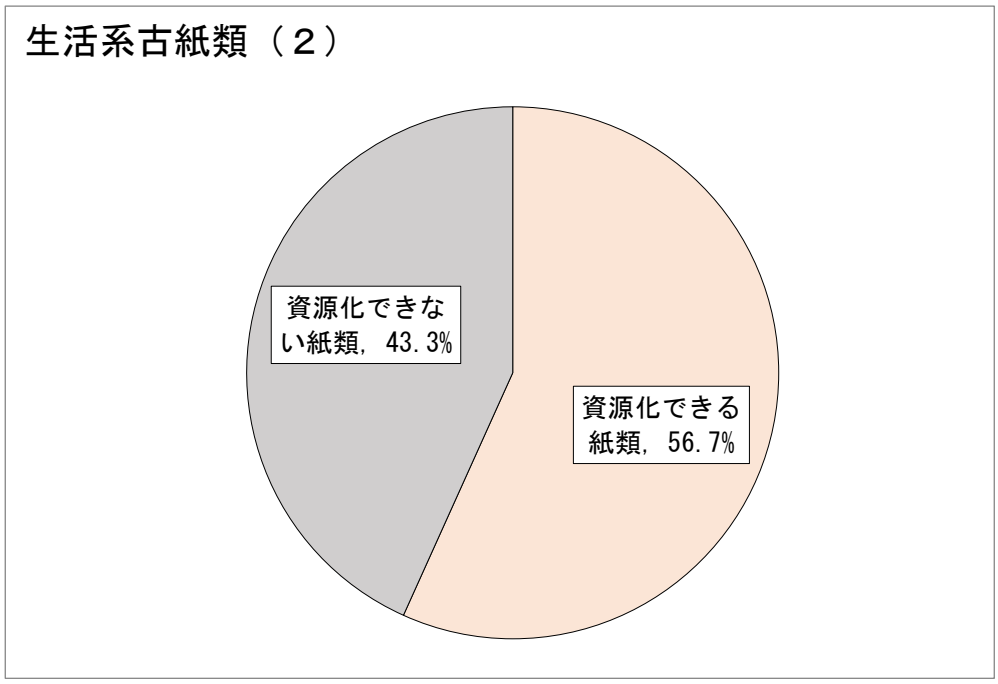


⑸　生活系ごみに含まれる資源化可能物の排出状況

ア　紙類の内訳

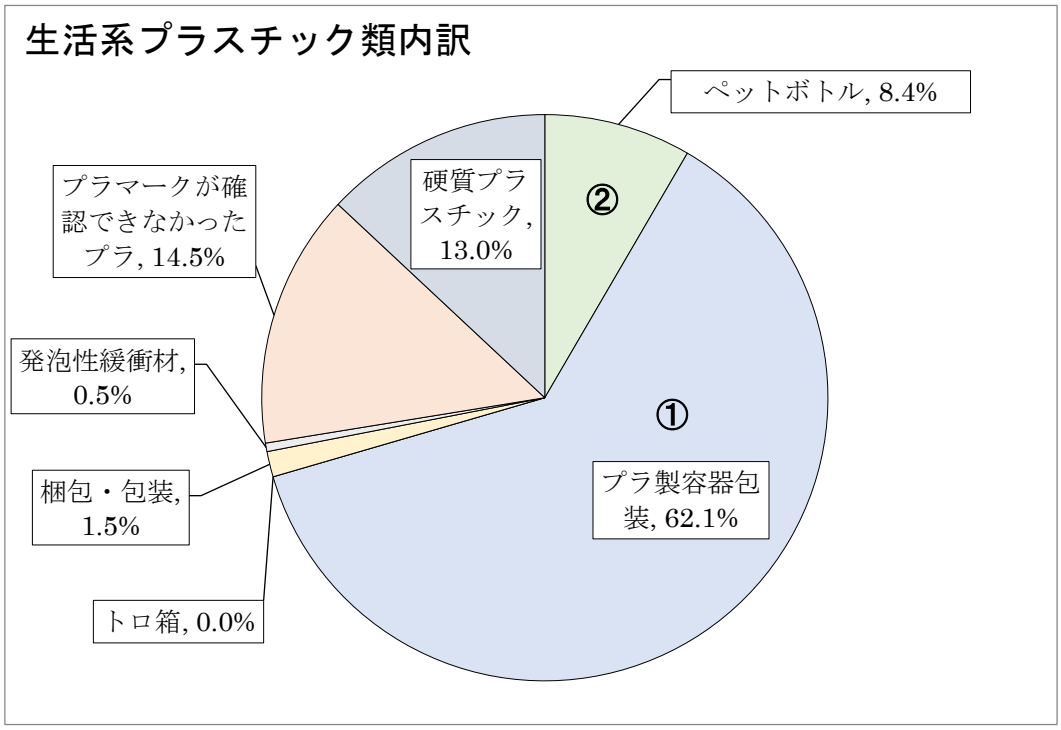
生活系、紙類の内訳としては、①紙製容器包装１６．１％、②新聞・広告紙１２．４％、③その他紙１１．７％、④段ボール７．３％、⑤書籍類６．１％等であり、紙類のうち５６．７％は、リサイクル可能であったと思われる。

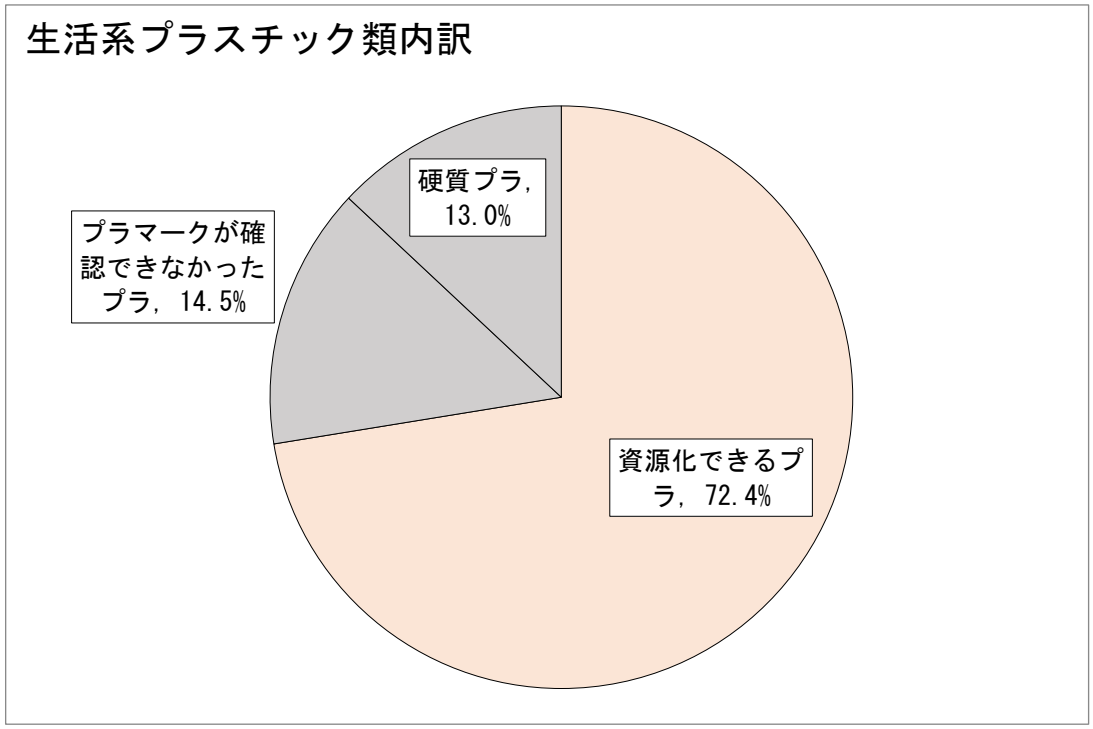




イ　プラスチック類

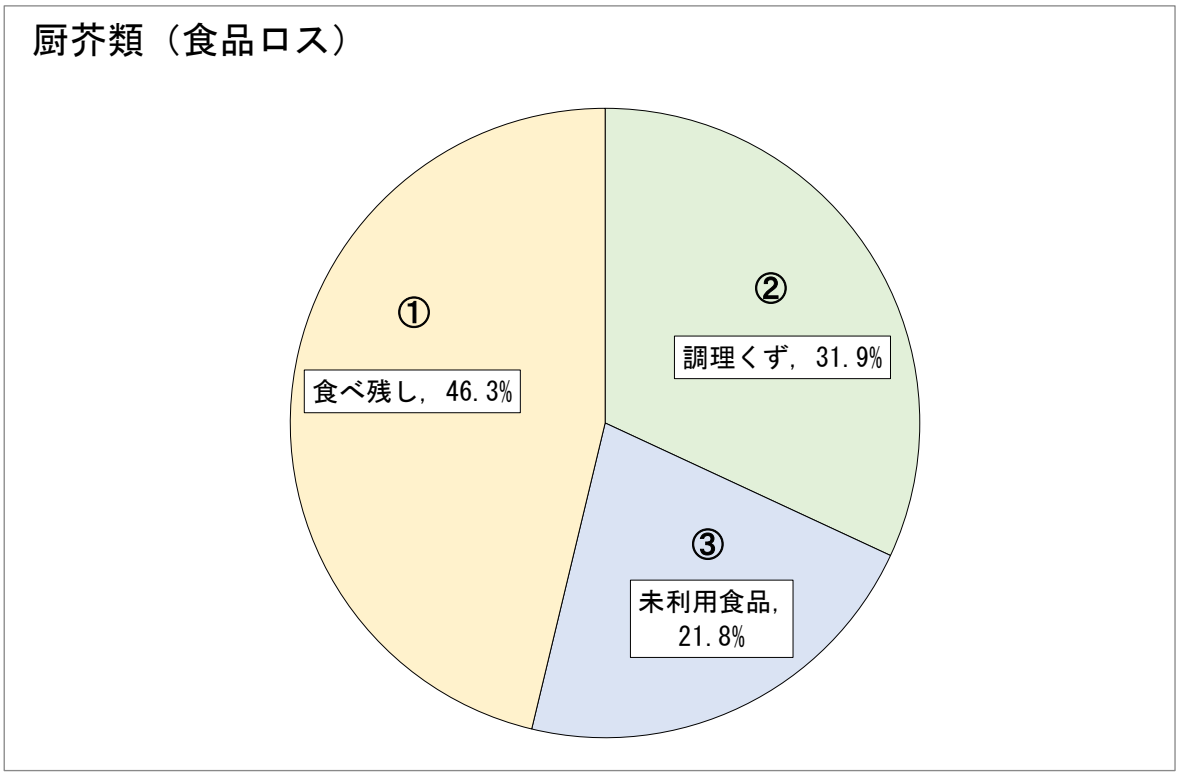
生活系、プラスチック類の内訳としては、①プラ製容器包装６２．１％、②ペットボトル８．４％等があり、プラスチック類全体のうち７２．４％は、リサイクル可能であったと思われる。また、硬質プラスチックは１３％であり、「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の施行に伴い、今後は資源化の対象とする必要がある。





ウ　厨芥類（食品ロス）

生活系、厨芥類の内訳としては、①食べ残しと思われるものが４６．３％、②調理くず３１．９％、③正味期限切れなどで廃棄されたと思われる未利用食品２１．８％があり、食べ物を残さないことや、また残ったものは、生ごみたい肥化事業、キエーロ等の生ごみ処理機等を活用することで食品ロスを減らすことが可能であったと思われる。



□ 令和4年度ごみ調査集計表(市町収集)

項目			2市1町				阿久根市				出水市				長島町			
			合計(42 回)	割合小分類	割合中分類	割合大分類	合計(9回)	割合小分類	割合中分類	割合大分類	合計(23回)	割合小分類	割合中分類	割合大分類	合計(10回)	割合小分類	割合中分類	割合大分類
調査量(kg)			2,729.60	100%	100%	100.0%	551.01	100%	100%	100.0%	1,498.75	100%	100%	100.0%	679.84	100%	100%	100.0%
大分類(10)	中分類(15)	小分類(34)																
紙類	古紙類(資源化可能)	① 新聞・広告紙	73.98	2.7%	12.4%	21.8%	18.38	3.3%	14.0%	23.0%	34.00	2.3%	10.6%	19.8%	21.60	3.2%	14.9%	25.2%
		② 書籍類	36.46	1.3%			6.58	1.2%			17.86	1.2%			12.02	1.8%		
		③ 段ボール	43.40	1.6%			3.24	0.6%			17.86	1.2%			22.30	3.3%		
	その他紙類(資源化可能)	④ 紙製容器包装	95.90	3.5%			20.88	3.8%			46.68	3.1%			28.34	4.2%		
		⑤ 紙パック	16.90	0.6%			4.62	0.8%			8.14	0.5%			4.14	0.6%		
		⑥ OA用紙類	0.15	0.0%			0.00	0.0%			0.01	0.0%			0.14	0.0%		
		⑦ シュレッダーくず	1.06	0.0%			0.00	0.0%			1.06	0.1%			0.00	0.0%		
		⑧ その他資源可能な紙	69.32	2.5%			23.20	4.2%			33.32	2.2%			12.80	1.9%		
	資源化できない紙	⑨ 資源化できない紙	257.05	9.4%	9.4%		49.58	9.0%	9.0%		137.26	9.2%	9.2%		70.21	10.3%	10.3%	
プラスチック類	プラスチック(資源化可能)	⑩ ペットボトル	47.55	1.7%	15.0%	20.7%	9.31	1.7%	16.7%	23.3%	22.98	1.5%	14.2%	19.6%	15.26	2.2%	15.4%	21.3%
		⑪ プラ製容器包装	351.57	12.9%			80.62	14.6%			185.82	12.4%			85.13	12.5%		
		⑫ トロ箱	0.00	0.0%			0.00	0.0%			0.00	0.0%			0.00	0.0%		
		⑬ 梱包・包装	8.22	0.3%			1.90	0.3%			3.32	0.2%			3.00	0.4%		
		⑭ 発泡性緩衝材	2.78	0.1%			0.08	0.0%			1.30	0.1%			1.40	0.2%		
	資源化できないプラスチック	⑮-1 その他プラスチック	82.29	3.0%	5.7%		17.24	3.1%	6.6%		43.83	2.9%	5.3%		21.22	3.1%	5.9%	
		⑮-2 硬質プラスチック	73.78	2.7%			19.20	3.5%			35.90	2.4%			18.68	2.7%		
繊維類	衣類(資源化可能)	⑯ 資源化可能な衣類	13.90	0.5%	0.5%	6.6%	1.90	0.3%	0.3%	1.5%	11.24	0.7%	0.7%	7.0%	0.76	0.1%	0.1%	9.6%
	資源化できない繊維類	⑰ その他の繊維類	165.02	6.0%	6.0%		6.38	1.2%	1.2%		94.42	6.3%	6.3%		64.22	9.4%	9.4%	
厨芥類	厨芥類	⑱ 調理くず	154.36	5.7%	5.7%	17.7%	33.44	6.1%	6.1%	15.2%	72.14	4.8%	4.8%	17.3%	48.78	7.2%	7.2%	20.7%
	食品ロス	⑲ 未利用食品	105.58	3.9%	12.1%		8.82	1.6%	9.1%		63.04	4.2%	12.5%		33.72	5.0%	13.6%	
		⑳ 食べ残し	223.68	8.2%			41.34	7.5%			123.84	8.3%			58.50	8.6%		
草木類	草木類	㉑ 剪定くず	31.38	1.1%	1.1%	9.9%	4.34	0.8%	0.8%	11.7%	26.22	1.7%	1.7%	13.3%	0.82	0.1%	0.1%	1.0%
		㉒ 草	238.82	8.7%	8.7%		59.86	10.9%	10.9%		172.76	11.5%	11.5%		6.20	0.9%	0.9%	
木片類	木片類	㉓ 木片	8.13	0.3%	0.3%	0.3%	0.64	0.1%	0.1%	0.1%	3.91	0.3%	0.3%	0.3%	3.58	0.5%	0.5%	0.5%
		㉔ その他木片	0.00	0.0%	0.0%		0.00	0.0%	0.0%		0.00	0.0%	0.0%		0.00	0.0%	0.0%	
ゴム・皮革類	ゴム・皮革類	㉕ ゴム	16.58	0.6%	0.6%	1.0%	2.72	0.5%	0.5%	1.5%	12.28	0.8%	0.8%	1.2%	1.58	0.2%	0.2%	0.2%
		㉖ 皮革	11.96	0.4%	0.4%		5.72	1.0%	1.0%		6.24	0.4%	0.4%		0.00	0.0%	0.0%	
その他可燃ごみ	その他可燃ごみ	㉗ その他可燃ごみ	586.54	21.5%	21.5%	21.5%	126.70	23.0%	23.0%	23.0%	316.02	21.1%	21.1%	21.1%	143.82	21.2%	21.2%	21.2%
不燃物類	不燃物類	㉘ 金属類	7.62	0.3%	0.3%	0.5%	1.98	0.4%	0.4%	0.8%	4.72	0.3%	0.3%	0.5%	0.92	0.1%	0.1%	0.2%
		㉙ 陶磁器類	0.06	0.0%	0.0%		0.00	0.0%	0.0%		0.06	0.0%	0.0%		0.00	0.0%	0.0%	
		㉚ ガラス類	5.56	0.2%	0.2%		2.34	0.4%	0.4%		2.52	0.2%	0.2%		0.70	0.1%	0.1%	
		㉛ 有害物類	0.00	0.0%	0.0%		0.00	0.0%	0.0%		0.00	0.0%	0.0%		0.00	0.0%	0.0%	
		㉜ その他不燃ごみ	0.00	0.0%	0.0%		0.00	0.0%	0.0%		0.00	0.0%	0.0%		0.00	0.0%	0.0%	
他市町ごみ	他市町ごみ	㉝ 他市町ごみ	0.00	0.0%	0.0%	0.0%	0.00	0.0%	0.0%	0.0%	0.00	0.0%	0.0%	0.0%	0.00	0.0%	0.0%	0.0%
備考																0	0	

８　ごみ減量目標値について

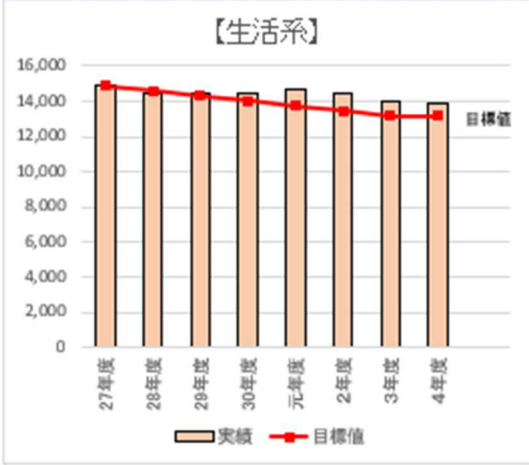
ごみ処理基本計画目標値である可燃ごみ２０，８９７トンに対し、令和４年度は、２２，５４２トンであり、目標達成には△１，６４５トン、約７．９％の可燃ごみの減量を行わなければならず、目標達成には、あと数年かかる状況である。

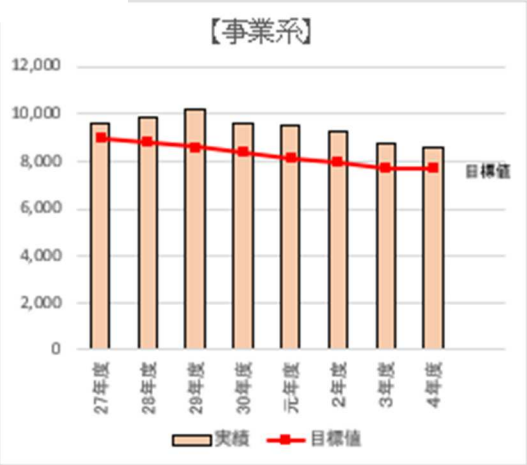
２市１町合計

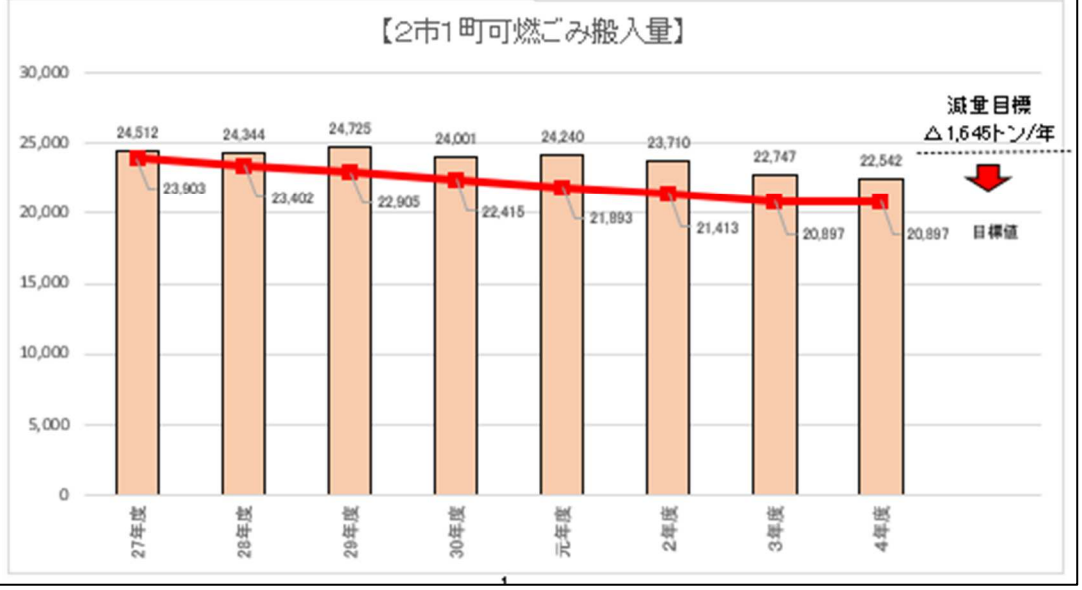
単位：トン

【可燃ごみ】		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	２年度	３年度	４年度
生活系	実績	14,916	14,465	14,502	14,401	14,688	14,443	13,986	13,932
	目標値	14,895	14,596	14,300	14,011	13,725	13,444	13,165	13,165
	差	+21	△131	+202	+390	+963	+999	+821	+767
	実績/目標値	100.1%	99.1%	101.4%	102.8%	107.0%	107.4%	106.2%	105.8%
事業系	実績	9,596	9,879	10,223	9,600	9,552	9,267	8,761	8,610
	目標値	9,008	8,806	8,605	8,404	8,168	7,969	7,732	7,732
	差	+588	+1,073	+1,618	+1,196	+1,384	+1,298	+1,029	+878
	実績/目標値	106.5%	112.2%	118.8%	114.2%	116.9%	116.3%	113.3%	111.4%
合計	実績	24,512	24,344	24,725	24,001	24,240	23,710	22,747	22,542
	目標値	23,903	23,402	22,905	22,415	21,893	21,413	20,897	20,897
	差	+609	+942	+1,820	+1,586	+2,347	+2,297	+1,850	+1,645
	実績/目標値	102.5%	104.0%	107.9%	107.1%	110.7%	110.7%	108.9%	107.9%

※　令和4年度の目標値は、施設建設時（R3）の目標値（処理能力）







９　まとめ

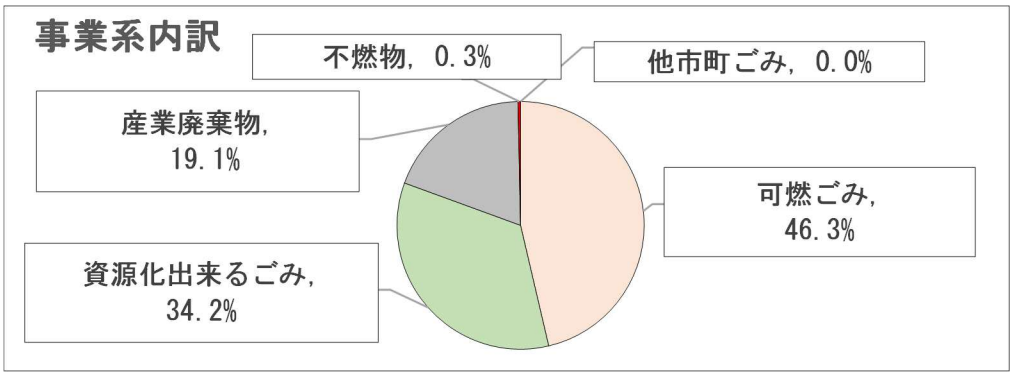
⑴　可燃ごみ減量の要因について

事業系の令和年３年度は、前年比△５０５トン（９４．５％）であり、令和年４年度は、前年比△１５１トン（９８．３％）であった。生活系の令和３年度は、前年比△４５７トン（９６．８％)、令和４年度は、前年比△５４トン（９９．６％）であった。

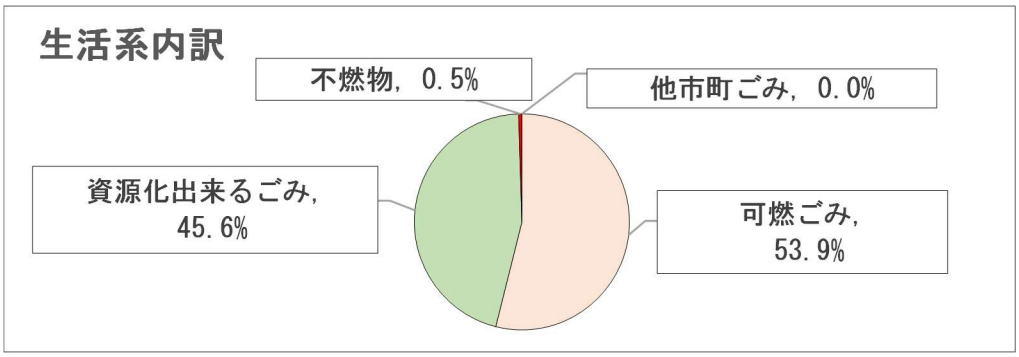
可燃ごみが減量している要因として、コロナ禍で住民活動が縮小していることに加え、継続して行っている構成市町ごみ減量化施策や本組合搬入ごみ展開調査による不適物搬入の抑止力効果によるものと思われる。しかしながら、令和４年度は減量率が鈍化しており、コロナ禍による住民の行動規制が緩和され、再び住民活動が活発化していることが考えられることから、これまで以上のごみ減量化対策を講じる必要がある。

⑵　分別による可燃ごみ減量の可能性

環境センターに搬入された後の展開調査では、ごみの排出者情報や排出時の排出状況が分からないため、分別の判断には難しい一面があるが、事業系の約半分のごみは、排出事業者が資源ごみ（主に紙類）及び産業廃棄物（主にプラスチック類）の認識不足から、可燃ごみに資源物及び産業廃棄物を混入している傾向は昨年度と同じである。構成市町では排出事業者へのごみ減量研修会等を実施しており、これらが改善すれば、事業系可燃ごみの約半分を削減出来る可能性がある。

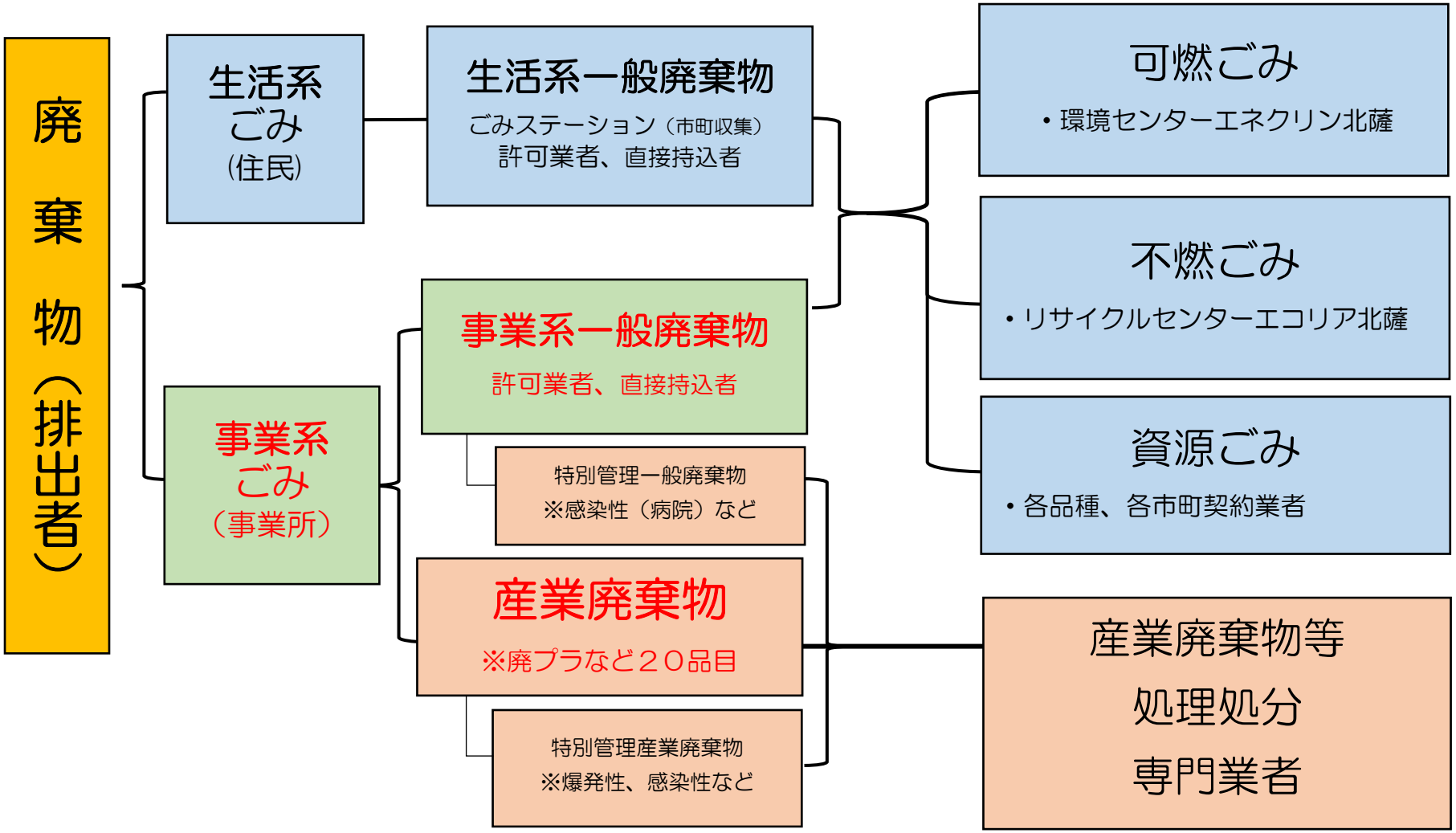


生活系は、昨年度と同様の傾向で、約半分のごみは住民の資源ごみ（主に紙類、プラスチック類、食品ロス）に対する認識不足から、可燃ごみに資源物が混入している状況である。住民への啓発活動により、これらが改善すれば、生活系可燃ごみの約半分を削減出来る可能性がある。



（資料1） 廃棄物の主な処理の流れ

※ ごみ排出者は、ごみを分別し、適切に処分しなければなりません。



（資料2）

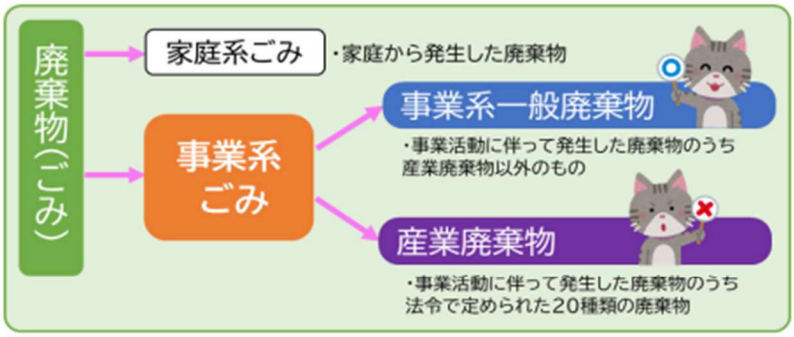
事業者の皆さまへ

～ 北薩広域行政事務組合からのお願い ～

事業系ごみの適正処理について

●北薩広域行政事務組合で処理できるのは事業系一般廃棄物のみです。

当組合（環境センター・リサイクルセンター）で処理できるものは、事業系一般廃棄物（下表参照）のみです。産業廃棄物は、産業廃棄物処理業許可業者に処理を依頼してください。



●北薩広域行政事務組合で処理できるもの・できないもの

産業廃棄物 （処理できません）

産業廃棄物（廃掃法で規定された20種類の廃棄物）
燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類
ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず
鉱さい、がれき類、ばいじん、紙くず、木くず、繊維くず

紙くず
・建設業（新築・解体・リフォーム）から出た紙くず
・紙製造業、新聞業、製本業、印刷物加工業から出た紙くず
・パルプ、紙または紙加工品の製造業

木くず・繊維くず
・建設業（新築・解体・リフォーム）から出た木くず、繊維くず
・木材または木製品製造業から出た木くず、繊維くず
・パルプ製品製造業・輸入木材の卸売業・物品賃貸業から出たもの
・繊維工業（製糸、紡績、織物業など）から出た繊維くず
・パレットを含む貨物の梱包用木材

動物系固形不要物・動植物性残さ
・食料品製造業等において原料として使用した動物または植物に係る固形状の不要物

廃プラスチック類
・ペットボトル、プラスチック製容器、発泡スチロール
PPバンド、ラップ類やトレイ、ビニール袋、合成ゴムなど

金属くず
・スチール製品（机、椅子、ロッカー等）、空き缶、刃物類
アルミホイル、一斗缶など

ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
・空きびん、板ガラス、コップ等のガラス類、電球（蛍光灯）
茶碗等の陶器類、植木鉢など

事業系一般廃棄物 （処理できます）

事業系一般廃棄物
事業所から排出された、産業廃棄物以外の廃棄物

リサイクル可能な紙類（リサイクルセンター）
コピー用紙、段ボール、新聞、雑誌、封筒
包装紙、付箋紙、チラシ、シュレッダーくずなど

リサイクルできない紙類（環境センター）
カーボン紙、写真、ちり紙、感熱紙
紙コップ、油紙、コーティング紙など

草・木・繊維製品（環境センター）
落ち葉、枯れ草、割りばし、天然繊維
（木綿、絹）の端切れなど

食品廃棄物（環境センター）
食べ残し、売れ残り、調理残さなど

缶・ビン・ペットボトル、弁当容器等（リサイクルセンター）
社員が飲食した缶・ビン・ペットボトル等で
きれいに洗って分別してあるもの

注：阿久根市のリサイクルごみは、リサイクルセンターで受け入れできません。

北薩広域行政事務組合